



南関中スピリッツ

「自分の限界に挑戦！チャレンジ南関中」 NO. 2 (文責 永杉尚久)

南関中学校学校便り

自主 創造 友愛

南関中の教育活動で育てたい力

学校便り第1号で、「自分の限界に挑戦する」という1年間の心構えをお伝えしました。

今回は、生徒たちが「自分の限界に挑戦する」ことで身に付けて欲しい3つの力をお話します。

①自分で考え判断し、積極的に表現・行動する力

(主体的挑戦力)

②自分の将来をみつめ、粘り強く自己実現に取り組む力 **(夢実現力)**

③自他を大切にし、多様性を受け入れる力

(絆構築力)

この3つの力は、生徒たちが本校を卒業し、社会に羽ばたいていく時に必要になるであろう能力を先生方と考えて絞り込んだものです。

これからの教育活動の中で、3つの力の育成をめざして取り組んでいきます。

校長のひとこと

ご縁があり、地元の南関中学校にお世話になることになりました。私自身は、旧南関北中学校の卒業ですが、子どもたち3人はこの中学校を巣立って社会人として生活しています。

10数年ぶりに校内に入り、校舎や校地を巡っていると、とても大きく広いことを改めて感じました。創立時は500名ちかくの生徒が学んでいたこともありますが、当時の南関町の方々の教育にかける思いを考えた次第です。

現在177名の生徒たちと28名の職員が学びの暮らしを行っていますが、「自主・創造・友愛」の精神を受け継ぎ、次代を担う人材の育成をしっかりと進めていきたいと思っています。地元ということで皆さんに甘えることなく、気を引き締めて頑張ります。

新緑に包まれ、朝日の中輝く校舎。生徒たちのエネルギーをひしひしと感じます。



今日の論語

子曰く、「過さず改むる、是を過すと謂う。」と。

先生(孔子)は言われた、

「まちがったと気付いているのに、それをそのままにして直そうとしないことが、本当のまちがいである。」と。

私たちは、生きていく中で失敗したり人に迷惑をかけたたりすることがあります。その時に、自分で気付いたり、周りの人から注意を受けたりすることがあると思います。そのことを素直に受け止めて、過ちを直していききたいものです。成長するために。

連休中のコロナウイルス感染拡大防止について

有明保健所管内(特に近隣の玉名市、荒尾市)では感染者が増加し、心配な状況が続いております。本校でも家族に濃厚接触ではありませんがPCR検査を受けられる方がぼつぼつといらっしゃる現状があります。(今のところ全て陰性です。)連休明けには、体育大会をひかえておりますことから、連休中の生活には充分ご留意をお願い致します。

- ①不要不急の外出は控える。
- ②人混みを出来るだけ避ける。
- ③マスク着用、手洗い・うがいの励行

連休中に感染確認やPCR検査等を受けられる状況になった場合、事故等で緊急な連絡が必要場合は、下記のいずれかの連絡先をお願いします。

校長 090-9491-5142
教頭 090-7296-4914

